

路面電車と巡る

125年の

歴史



明治44年8月の電化により登場した四輪電車(写真は戦後のもの)

戦災を免れた2号車はそのまま使用され昭和33年4月に廃車になるまで活躍。



大正2年12月に竣工した6号車の記念撮影



市役所前を走るかまぼこ形の戦災復旧車(昭和26年3月)

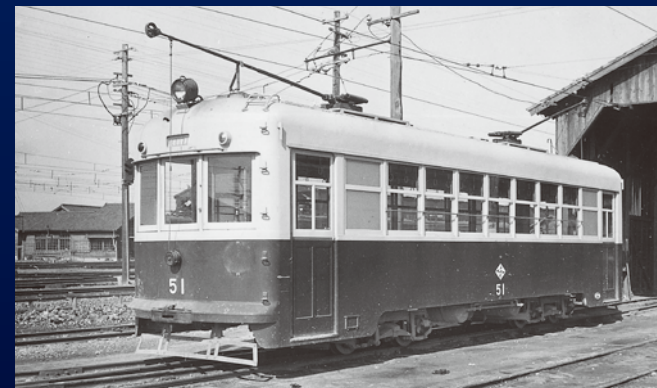
外部塗色は従来セピア色だったが、昭和26年3月から約2年かけて窓より上をクリーム色に、下はマルーン色に塗り替えられた。



昭和38年に増備された70号車
側面のふくらみやリブがなくなっている。



昭和35年に登場した62号車
前面窓のうち中央窓が大きく側面にリブがあるのが特徴。



昭和26年に登場した当社市内電車初のボギー電車の51号車
集電装置(トロリーポール)が前後に2台あるのが特徴。



道後公園前を走行中の坊っちゃん列車1号機関車(平成16年)

平成13年10月から復元運行を開始。ディーゼルエンジン駆動方式を採用。



松山市駅に停車中の2101号車(平成15年)

平成14年に登場した日本初の単車式低床電車。



花園町を市駅方面に走る2003号車(平成19年)

昭和54年に登場した京都市交通局からの譲渡車両。